

# ともしび通信



教会設立34周年

## My Way

「特別伝道集会」

6月28日(日)

I 礼拝 AM 10:30~12:00  
II 礼拝 PM 2:30~3:45



テーマ：聖書に書いてあるわたしたちの "my way"

あなたのみことばは、私の足のともしび  
私の道の光です (詩篇 119:105)



特別講師：村上聡(さとし)先生

兵庫県神戸市西区にあるプロテスタントの教会、聖書の正しい教えと、  
笑顔と喜びがあふれるグレース神戸バプテスト教会の牧師先生です。  
また関西単立バプテスト神学校の校長先生でもあられます。

当教会は今年で設立34年になります。特別伝道集会にグレース神戸バプテスト教会の村上聡(さとし)牧師先生が午前と午後の2回の集会でメッセージをしていただきます。皆さまの来会をお待ち申し上げます。(牧師 松本俊雄)

町田バプテスト教会  
町田市つくしの2-31-4 【TEL】042-796-3822

## 集会のご案内

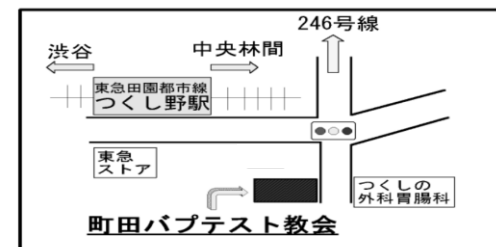
教会の詳細はホームページでもご紹介しています。  
<http://goodnews194.com>

<p><b>日曜礼拝</b></p> <p>多忙な日々の中で、うつむき加減になっている顔と心。天を仰いで生きる元気を取り戻して下さい。</p>  <p>毎日曜 I AM 10:30~11:50 II PM 4:00~5:00</p>	<p><b>教会学校</b></p> <p>幼児から大人まで、クラスに分かれて聖書を学んでいます。どの世代にあっても聖書の学びは生涯の道しるべとなります。</p>  <p>毎日曜 9:00~10:00</p>	<p><b>水曜礼拝・祈り会</b></p> <p>週の半ばの夜、静かに神を礼拝し、メッセージに耳を傾けます。講解説教で順番に学んでいるので聖書を知りたい方に最適です。</p>  <p>毎水曜 19:30~21:00</p>
<p><b>壮年会</b></p> <p>壮年会では聖書の学びと、賛美集会や教会カフェ、日帰り温泉などサークル的な活動もあります。</p>  <p>毎月第2日曜 13:30~15:00</p>	<p><b>婦人会</b></p> <p>日曜午後の集いは個々に抱えている課題を話しあい、喜びも困難も分かち合う、穏やかなひと時です。</p>  <p>毎月第2日曜 13:30~15:00</p>	<p><b>青年会</b></p> <p>大学生から社会人まで、月1回、ともに集まり賛美をし、語り、励まし合い、祈りあう集いの時です。</p>  <p>毎月第2日曜 13:30~15:00</p>
<p><b>子育てサークルハンナの会</b></p> <p>ハンナの会は子育てに疲れたり、悩んでいるお母様に元気を与える会。お子さまはお預かりします。</p>  <p>毎月第3火曜 10:30~13:00 昼食付</p>	<p><b>ツールペイントサークル</b></p> <p>賛美とメッセージのひとつ。花を描きながら心を解放するひととき。お茶を飲み、語らうひととき。</p>  <p>毎月第1水・金 10:00~12:30</p>	<p><b>木曜婦人集会</b></p> <p>家事、育児、仕事に忙しい女性たちがありのままの自分でいられる場所。希望と勇気が与えられる時。</p>  <p>毎週木曜 10:30~12:00</p>



聖書は旧約が39巻、新約が27巻、計66巻から成り立っています。面白い章もあるのをご存じですか? 代表的なのが「箴言(しんげん)」。箴言とは格言・金言の意味を持った言葉を集めています。ひとつ、ご紹介しましょう。「あなたが横たわるとき、あなたに恐れはない。休むとき、眠りは、こちよい。」

- 集会は参加自由です。お気軽に、お越しください。
- 質問や相談ことはどんなことでもお尋ねください。
- 送迎の必要な方は、ご遠慮なくお申し出ください。
- 町田市つくし野 2-31-4
- TEL&FAX 042-796-3822



### 編集後記

「ともしび通信79号」をお届けします。町田バプテスト教会は、6月で教会設立34周年を迎えます。最初は伝道所として小川の地で開所しました。プレハブの2階をお借りしてのスタートです。プレハブ時代のことを思い出すとき、心に浮かぶのは2階に上がる急な階段です……。いまは居心地のいい会堂ですよ。お気軽にお越しくださいね。お待ちしております。



## 単立 町田バプテスト教会

町田市つくし野 2-31-4 ●<http://goodnews194.com>  
042-796-3822 ●[mail:machida@church.email.ne.jp](mailto:machida@church.email.ne.jp)

## 光あるところに希望がある

まったくの油断で、丹沢の大山で遭難しかけたことがあります。教員をしていた時代、子ども達の遠足のために下見は必ずしなければならぬことでした。その年は、いろいろな行事が重なりその時間が取れませんでした。そこで少し無理と思いましたが、午後から行くことにしました。大山にはもう何回も登った事があり、多少遅くなくても大丈夫だろうと思って行きま

した。ところが頂上に着いた頃から、小雨が降って視界が悪くなって来ました。焦って下山を始めましたが、途中で道を間違えてしまいました。行けども、行けども戻れなくなり日も暮れ辺りは真っ暗になり、気温も下がり寒くなって来ました。急に「遭難」ということばが頭に浮かびました。その時不思議な事に「死ぬ」ことより、こんなところで遭難して

「恥ずかしい」という思いの方が強かったように思います。

しかし、幸いな事にそれから1時間程して遠くに光が見えて来ました。その時初めて、「光ある所には人がいる(助けてもらえらる)」、から希望なのだと思付きました。「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。詩篇119章105節」と言う聖書のことばがあります。それは、人生に迷い失望した人が、聖書のことばに出会い、励ましと力を与えられ希望ある人生に変えられて行った告白があります。あなたもこの記念礼拝にお出かけくださり、人生の光を見いだされます事を願っています。



## 理想の死に方はない

高齢化社会の中、「終活」や「老前整理」と言うことばが聞かれるようになりました。私は今年で69歳になりますが、今から約25年前に父母をそれぞれ70歳少して亡くしました。不思議ですが、その時から自分も70歳ぐらいで死ぬとして「どんな死に方をするのだろうか」と漠然と考えて来ました。

そして、あつと言う間にこの年齢になってしまいました。今まで牧師として多くの方々の臨終や葬儀に立ち会って来ましたが、その中で「人は自分の思い通りには死ねない」と深く感じて来ました。

そのような中で、「私は今や注ぎの供え物となります。私が世を去る時がすでに来ました。私は勇敢に戦い走るべき道のりを走り終え、信仰を守り

通しました」(ロテモテ4章6〜7節)という聖書のことばに出会いました。特に「走るべき道のりを走り終え」と言うことばに心打られました。

人は死ぬ時や方法が自分で決められない以上、「自分の理想の死に方」もできないのではないのでしょうか？

そして、それよりも大事な事は、「走るべき道のりを走り終えること」今生きている間にやるべきことを十分にやることではないかと気付かされました。



## 牧師室より 松本俊雄 牧師

私的映画批評  
「この空の花 長岡  
花火物語」  
2012年日本作品  
松本勇哉

今年の夏の「予定は」  
舞台は8月1日〜3日に花火大会が開催される新潟県長岡市。その花火と戦争と震災をある地方記者を主人公として描いていく。  
まず圧倒されるのは映画の密度だ。テンポの早いセリフと、字幕によりほとんど入ってくる情報。話も過去、現在、空想とバラバラに展開するストーリー。しかし、話が一つ一つ繋がっていき、最後には感動(ちなみに私はここで号泣)。

も涙が出る。それはなぜか。監督が対談でこんなことを話していた。「この映画は、『意識の流れ』で観ると非常に分かりやすい。監督が長岡で体験し、聞き、感じ、経験したことを、俳優や風景を通して描いた。確かに、観客ではなく、自分が長岡を訪れるという意識で観るとスーッと意味が入ってきて、話がどんどん自分について気持ち揺らぐ。

聖書の中には、昔の話が多く、自分とは関係無いと思って油断している」と「自分に近いな」「自分のために書いてあるのか」「この人は俺みたいだ」となることがある。そんな意味でこの映画は聖書に似ているなと思った。

今年の8月1日の予定が決まった。



## 婦人会リレーアナタに出会えて嬉しい



Yさんのこと

清水孝子

Yさんは女学校の一年先輩、同じ職場で出会いました。一見穏やかなお嬢様の風、でも芯はしっかりした大人の女性。私には近寄りたいたい存在でした。それから数十年後、退職時期が一緒だったこともあり、二人は急接近しました。当時二人は、介護の真っ最中。情報と愚痴の交換が続きました。その中で、信仰について語り合う事で、安らぎと生きる力を与えられました。

Yさんは、まだ十代の頃「お風呂は入ってみなければ熱いか、ぬるいか、わからない」

という先輩の言葉で受洗の決心がついたそうです。

その後私の受洗時期に触れて、「あなたの受洗は40歳。それまで神様はずっと待っていて下さったのね。」と続けたのです。はっとしました。この言葉で、私は改めて「神様の深い愛」に思い至りました。

このようにYさんは、時になつた言葉で私を慰め、励まし、また大切な事に気づかせてくれるのです。その後、介護から解放されて私達は元氣はつらつ。ますます、親交を深めています。

Yさん、姉のようなあなたと出会えたことを、心から神様に感謝します。

## シリーズ 私のお気に入りの

My favorite



成田望

自分がこだわりを持ち、大切にしているもの。残念ながらも自分には、これといったものが見当たらないというのが結論です。あまり物にこだわらないほうかも知れません。

私は電車に座っていて前に座る人の内何人がスマホを操作しているか、カウントしてしまつ。観察しているのが好きなのかも知れない。

観察で思い出すことそれは長女の子育てです。子育てといってもオシメひとつ取り替えた事がなく眺めるだけで現代の育メン男性には理解出来ないでしょう。

長女が親の顔を覚え始めた頃、ベッドに寝かせて、離れようとする絶妙なタイミングで布団を足で蹴る仕草を見た時の驚き。布団を蹴ってしまえば、また親が来てくれる。どうもそう考えているらしい。誰も教えないのに知恵を付けている。その知恵はどこからくるのだろうかと思いましたが。

最近この話を家族に話しても誰も覚えていない。長女に当時の面影も無い。結局自分だけの大切な思い出になってしまつていく。

教会には日曜学校があり、子供達が集まっている。礼拝にも子供達が出席しているし、昼食時にも子供達を見かける。その姿を見ていると、ふと昔を思い出し、そして思わず笑ってしまつた自分がそこに居るのでした。